

名取のごみ処理に関する説明会概要

⑨愛島公民館

1 日 時 令和7年7月11日（金）19:00 ～ 20:33

2 場 所 愛島公民館 会議室1・2

3 参加者

（1）市民26名

（2）朽木環境共創課長、石川環境共創課長補佐、小山主事

4 説明事項

（1）これまでのごみ行政について

（2）現在のごみ処理について

（3）ごみに関する名取市の取り組みについて

（4）最終処分場の機能と役割について

（5）質疑応答

<質疑応答（要約）>

（1）最終処分場の概要、選定過程などに関する質疑

Q1 最終処分場の埋め立てが、15年で満杯になるのであれば、20年など長く使えるようにした方がいいのでは。

A1 最終処分場は10万立米の埋立容量で15年の使用を想定をしているが、ごみの総量は減少傾向にあり、少しでも長く、延命できるようにしていきたいと考えている。また、名取市の最終処分場が満杯となった後は、2市2町の基本的な方針として、次は山元町に決まっている。

Q2 過去に愛島地区に建てないという約束があったことから、候補地10箇所が5箇所になったのではなく、愛島地区を除いた7箇所でスタートすべきではないのか。

A2 繰り返しになるが、市内全域を対象として建設可能なエリアを抽出していることから、愛島も含めた形で適地の選定をしている。

Q3 旧最終処分場が愛島地区にあり、次の建設時は愛島地区に持ってこないと約束がされたのに、候補地 5 箇所の中に 3 箇所もあるのは納得ができない。

A3 長年にわたり、ごみ処理施設が愛島地区に設けられ、住民の皆様方に御心配をおかけしておることは、市として重く受け止めている。ただ今回は、改めて市内全域を対象として、合理的、客観的な理由により、最終処分場が建設可能なエリアを抽出して、絞り込みをかけて選定をしている。

Q4 外部委員会の委員長が選定箇所を決めるのはコンサルタントではなく、名取市で決めると述べていた。説明会ではコンサルタントや外部委員会で決めたというように感じた。

A4 市内全域を対象として処分場の建設が可能なエリアを抽出しており、コンサルタントは調査を行っている。最終的には調査項目を基に市が 1 箇所に選定する。

Q5 過去に愛島地区でごみ処理を担ってきた経過や愛島地区に建てないという約束も候補地を絞り込んでく要素として加えて欲しい。

A5 評価項目の内容は検討中であるが、過去の経過は項目に含めていない。

Q6 2 市 2 町でリスクの分散をするのであれば、名取市でもリスク分散に準じないのはダブルスタンダードではないのか。

A6 繰り返しになるが、市内全域を対象としてスタートしている。

(2) 最終処分場のご意見として承ったもの

意見1 今回の説明会では、ごみ処理全般について市内 12 箇所で開催されているが、愛島の会場では、最終処分場の話は避けて通ることができない。前々市長が愛島地区に対し、約束した経過があり、年度末までには候補地を一つに絞りたいということであれば、まずは、愛島、館腰、下増田の方々に、誠意を持って説明してほしい。不信感だけが募っている。できるだけ速やかに、対応していただきたい。

意見2 前々市長との約束があるため、愛島が候補地に入っていること自体が間違っている。

(3) その他質疑

Q1 道路に散乱しているごみは不法投棄として扱ってよいのか。

A1 お見込みのとおりである。

Q2 ごみ集積所設備設置等補助金は令和 7 年度だけなのか。

A2 令和 6 年度から実施しており、8 年度以降も申請可能である。注意事項として修繕購入の実施後だと申請ができないため、実施前に申請いただくことが必要である。